



船橋市議会議員（市民社会ネット）

浦田 秀夫 通信

第 8 5 号
(2012 年 3 月)

自 宅 船橋市松が丘 4-31-5 TEL&FAX 047- 466-6019

事務所 船橋市高根台 6-38-9 TEL&FAX 047- 461-1350

メール urata.hideo.1950@gmail.com ブログ <http://urata-hideo.seesaa.net/>

控えめな市の新年度予算

もっと積極的な予算を

船橋市の24年度予算案は、一般会計が1.735億5千万円で対前年度比0.9%増、特別会計、企業会計合わせた全会計は3.169億42百万円で、対前年度比1.3%の増。

税収は0.7%減少し924億7720万円だが、地方交付税は23億円増の53億円を見込んでおり、財政調整基金の取り崩しは43億円で13億円の減。市の借金にあたる市債は153億円で37億円増となっている。

全体としては控えめな予算で市民生活に必要な予算が積極的に計上されているとは言い難い。

県が拡充を決めた子ども医療費の助成拡大については補正予算で対応するとの説明であった。

23年度の当初予算は、1.719億7千万円だったが、補正予算が毎議会ごとに出され、補正後の予算額は1.861億1,540万円で当初予算に比べ145億5千万円、8.2%増になっている。

昨今の経済状況を考えれば、市民生活に必要な予算は当初予算に積極的に計上すべきだ。

安心・安全に重点を置いた予算？

市は、市民が安全で安心して生き生きと暮らすことができるよう、①防災・防犯対策の強化による安全と安心の実現、②福祉体制の確立、③教育環境の充実、④地域経済の活性化、⑤医療の充実と健康づくり、⑥快適な都市基盤の整備、⑦新公共交通システムの導入や駅エレベータの整備、⑧地球にやさしい環境対策の推進の 8 つの重点項目を中心に効果的に予算を配分したとしている。

本当にそうになっているのか、新年度予算は 2 月 27 日から 3 月 28 日までの第 1 回定例市議会で審議される。詳細は次号で報告する。

市の新年度の主な予算（事業）は次の通り。
安心・安全の実現

① 地域防災計画の策定と

津波ハザードマップの全戸配付（2.219 万円）

② 町会・自治会に防災ラジオを配付（2.703 万円）

③ 公民館などに備蓄品を整備（5.225 万円）

これまで全小中学校に整備してきたが、新たに公民館など 13 生涯学習施設、勤労市民センター、市立高校に整備する。

④ 古和釜中学校内に耐震性貯水槽を整備（1.665 万円）市内 33 カ所に整備済み。

福祉体制の確立

① 保育所の整備 230 人の定員増（6 億 5,548 万円）

新築 習志野台 2 丁目保育園 定員 90 人

高根台 2 丁目保育園 定員 90 人

増築 たちばな保育園 定員 30 人を 90 人へ

杉の子保育園 定員 110 人を 120 人へ

てまり保育園 定員 120 人を 130 人へ

(コメント) 1 月 1 日現在 1,245 人を超える待機児童対策としては不十分だ。

② 公立保育園の建替え、

耐震補強工事など（14 億 653 万円）

建替え工事 中央保育園 三山保育園

湊保育園、習志野台第一保育園

耐震補強工事 高根保育園

③ 放課後ルームの整備（8,888 万円）

坪井放課後ルーム 定員 55 人を 112 人に増員

若松放課後ルーム 定員 65 人を 130 人に増員

④ 子どものための手当支給（108 億 5,512 万円）

3 才未満は 1 人月額 15,000 円

3 才以上小学生まで 1 人月額 10,000 円

3 子以降は 1 人月額 15,000 円

中学生は、1 人月額 10,000 円

(コメント) 名称が子ども手当から子どものための手当に変更、6 月以降は所得制限があり。

教育環境の整備

- ① 学校校舎の耐震化の促進 (8億4,854万円)
- ② 学校校舎の増築 (7億6,663万円)
 - 三咲小学校 12教室
 - 法典小学校 7教室
 - 行田中学校 6教室



地域経済の活性化

- ① 住宅リホーム
地域経済応援商品券の発行 (6,721万円)
住宅リホームを市内施工業者により実施した市民に工事費用の10%分の商品券を交付。
(コメント) 昨年11月に実施したが、1日で予算をオーバーした。事業の継続と予算の増額を求めて来たが、今回予算額は2倍となった。

医療の充実と健康づくり

- ① 医療センターの医療機器の整備 (15億円)
- ② 保健福祉センター建設に向けた
用地取得など (8億893万円)
 - 建設場所 北本町1丁目(旭硝子工場跡地)
 - 建設施設 保健所、保健センター、夜間休日急病診療所、家庭児童相談室など。
 - オープン 平成27年10月予定

都市基盤の整備

- ① 都市計画道路、歩道、通学路の整備 (35億円)
都市計画道路宮本古和釜線など7路線
- ② 自転車駐車場の整備 (8,930万円)
京成船橋と大神宮駅の高架下に自転車駐車場を整備する。
(コメント) 駅前の歩道が駐輪場として使われている。この解消を訴えてきたが、高根公園駅前には駐輪場が間もなく完成し、船橋駅前もこれで解消する。残されているのは津田沼駅や北習志野駅などだ。
- ③ 河川の整備 (5億9,065万円)
治水対策として、木戸川、高根川、大穴川などを整備する。
- ④ UR賃貸住宅を市営住宅として借上げ(820万借上げ戸数10戸。
(コメント) なんと規模が小さい、福島第一原発事故で大熊町から市内に避難してきた家族の市営住宅入居を市は断った。市長が議会で申し訳なかったと陳謝したが、災害時に備えた市営住宅の確保は緊急の課題だ。

環境対策の推進

- ① 太陽光発電設備等の
設置費用助成(4,360万円)
(コメント) 前年度の予算2,000万円を増額したが、原発や化石燃料依存から脱するためにもっと思い切った増額をはかるべきだ。
- ② 西浦資源リサイクル施設建設(15億4,120万円)
粗大ごみ、不燃ごみの粉碎・選別を行いリサイクルの推進を図る。
- ③ ペットボトルのステーション回収を開始
現在の拠点回収から10月からステーション回収を実施する。

その他、市民便利帳を全戸配付

主に転入者用に発行している「ふなばし市民便利帳」を全世帯に配付、経費は広告収入で賄う。

国民健康保険特別会計 保険料は据え置き。

介護保険特別会計 保険料は基準額で月額3,840円から4,190円に350円の値上げが提案されている。

暴力団排除条例の制定

暴力団の排除を推進し、市民の平穏な生活及び事業の健全な発展に寄与することを目的に暴力団排除条例と公共施設から暴力団の利用制限及び利益排除を図るための条例が提案されている。

政府や国会に対する意見書6本を提起

- 市民社会ネットは下記の発議案を提起した。
- ◎ 社会保障と税の一体改革の根本的見直しに関する意見書
 - ◎ 小選挙区制を廃止し、多様性を尊重する選挙制度の実現に関する意見書
 - ◎ 原子炉等規制法改正案の見直しに関する意見書
 - ◎ 原発事故被爆者援護法(仮称)制定に関する意見書
 - ◎ 米軍再編見直しに伴う普天間基地固定化反対に関する意見書
 - ◎ 秘密保全法(仮称)の国会提出中止に関する意見書

私のブログは市政や県政、国政に関する意見、主張、日頃の活動、イベントのお知らせなどほぼ毎日更新しています。浦田秀夫で検索し、ぜひ一度ご覧下さい。